

私の大切な家族

はな ♀ 1歳6カ月 (犬・北海道犬)

宇隆 ^{やまぐち} 山口 ^{よしのり} 善紀 さん家族



自宅の玄関前で、奥さんのさゆりさんと『はな』

「今から2年前、ソフトバンクのCMでタレント犬の『カイくん』を見て、そのかわいらしさにどうしても北海道犬が欲しくなった山口さん夫妻。すぐさま知人にお願ひし探してもらうことに。「その頃、ハスカップの収穫どきに泥棒にあって、実は防犯目的も少しはあったんです。希望は白いメスでした!」と話す善紀さん。山口家の一員となった『はな』は、とにかく人なつっこい。「警戒心が強いので、不審者が近づいたら吠えるはずなんです、今は家族に対して吠えてしましますね」と奥さんのさゆりさんは笑う。好物は、自家製のハスカップ。生食で食べるのがお気に入り。そんな『はな』は、あまりの力強さのため屈強な大型犬の首輪をしているそうだ。「私たちにとって、『はな』は子ども同然の存在ですね」と笑顔が絶えない山口さん夫妻だ。

ペット、本を紹介してください。お気軽にまちづくり推進課企画調整グループまで (☎27-3179)

本

私の出会った素敵な本

「復活の日」

小松左京/作

本郷 ^{やまのした} 山野下 ^{まこと} 誠 さん

「私の読書歴の中でも思い出深い1冊ですね。この本は、恐怖の細菌兵器のために人類はなすすべもなくほとんど全滅し、南極に残されたわずかな人々の生き延びる姿を描く壮大なSFです」と語る山野下さん。

中学3年の時に、国語教諭に読書を勧められ手渡されたのが『復活の日』との出逢いだ。当時、ものすごく国語が苦手だったんです。苦手を克服するため教諭がいろんな本を貸してくれたのですが、この本のインパクトは別格でしたね。「人類滅亡の恐怖と再生への模索」というテーマを描き切ってる内容に驚愕しました」と当時を振り返る。この出来事がきっかけで、山野下さんの中に眠っていた読書心が開かれた。

日ごろは仕事柄、実用書を読むことが多いという山野下さん。プライベートでは睡眠前に、推理小説やミステリーを好んで読むという。

「本を読むことは自分の知識や想像力を広げてくれるもの。僕はいつも新しい発見を期待しているんですよ」とやさしい笑顔を見せた。



出会

いき

いき

いき

いき

ふるさと

凶

鑑

人

100%サーフィンのために移住しました

豊沢 (ルーラル)

塩屋 ^{しおや} 英 ^{えいじ} 史 さん (37歳)

ルーラルに10月から住み始めた塩屋さん。ライフスタイルが、今回はキーワードになりそうなの。静岡に引っ越したんです。でもすぐに自衛官だったから転勤が多くて、何度か北海道と本州を往復してましたね。小さい頃はとにかくやんちゃ。年上の子とケンカするくらい。同級生には、なぜか「さん付け」されていたんです。なんとなく大人の風格が漂っていたんですかね(笑)と話す塩屋さん。この秋、ルーラルビレッジに住宅を新築し、千歳から移り住んだ。周りの自然をほどよく取り込み、モダンで優雅にたたずむお洒落な自宅は、一見の価値がある。

打ち明ける。そのダンスを、なんと高校卒業と同時にきっぱりとやめてしまった。「未練は全くありませんでした。プロになっても食べていけない、東京に行く自信もない、いろいろ考えて出した結論でしたから。その後2年間のフリーター生活を経て、20歳の時に美容室の門を叩いた。「見習いとして働きながら、通信教育で免許をとったんです。下積み時代は、本当に過酷な日々を送っていましたね。20歳の頃はあまり遊んだ記憶がないんですよ。大変だったけど毎日が充実していた。天職だった、それは心から言えますね」と話す。そうして機は熟した。ちょうど30歳の時、千歳に独立。「独立は当然ながら、経営者になるということ。それまでとは違い責任の重さが変わりましたね。ただ同時にやりがいも大きくなったんですよ。サーフィンとの出会いはその頃である。「職場の後輩に誘われたのがきっかけですね。1度目で見事ハマりました。ハマればハマるほど、家が近くにあればと思ってきました。厚真への移住は、100%僕のサーフィンが理由ですが、そのことを妻も理解してくれたんです」と笑う。「今ではこの自然が、夫婦共にお気に入りなんです。このマチに住んで本当によかったです。あとは賛同してくれた妻に感謝です」と塩屋さんは笑顔を浮かべた。